

1. サービス仕様

当社は、以下のサービスを提供します。

(1) 音声認識サービス

① 音声認識実行環境

契約者のアプリケーション（以下「契約者アプリケーション」という）に対して、以下のとおり音声認識を実行する環境を提供します。

i. 音声認識要求

契約者アプリケーションが API を通じて利用者の発話情報（音声データ）を音声認識実行環境に送信することを可能にします。

ii. 音声認識結果返却

音声認識により受信された音声データを当社が用意する言語モデルと照合し、音声認識結果（音声データをテキストに置き換えたデータや単語数などの情報をまとめたもの）として契約者アプリケーションに送信します。

なお、音声認識サービス（専有環境）では、音声認識実行環境は、契約者が選択した同時接続数の音声認識の実行回数が無制限の契約者の専有環境として提供されます。また、音声認識サービス（共有環境）では、音声認識実行環境は、ベストエフォート型の音声認識の実行回数に別途当社が定める上限のある共有環境として提供されます。

② Voice Operation SDK

音声認識実行環境を利用できる契約者アプリケーションを開発するための SDK（ソフトウェア開発キット）として、ライブラリ、アプリケーション開発ガイド、API リファレンスおよびサンプルアプリケーションを提供します。

2. 提供リージョン

本サービスは、以下のリージョンで提供されます。

- ・東日本リージョン 1

3. 制限事項・注意事項

- (1) 本サービスに深刻なダメージを与えるような集中利用があった場合は、本サービスへのアクセスを拒否する場合があります。
- (2) FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O PaaS の HTTPS(TLS)仕様として、SSL/TLS 通信暗号化強度が高くない方式を使用する事が可能となっています。PaaS が提供する HTTPS に対するアクセスについて、新しいブラウザを使用するなどして、暗号化強度が高い方式で通信されるようにしてください。

以上

附則（2017年1月23日）

本サービス仕様書は、2017年1月23日から適用されます。

附則（2018年5月24日）

本サービス仕様書は、2018年5月24日から適用されます。

附則（2018年6月22日）

本サービス仕様書は、2018年6月22日から適用されます。

附則（2018年8月30日）

本サービス仕様書は、2018年8月30日から適用されます。

附則（2020年6月11日）

本サービス仕様書は、2020年6月11日から適用されます。